



学校だより 9月号

令和5年 8月31日

横浜市立新田小学校

学校に活気が戻ってきました

校長 村岡 靖

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声があふれています。夏休み中の静まり返った抜け殻のような学校が、生き返ったようです。

先日、新聞の朝刊に『クレヨンしんちゃん』の映画の広告が、大きく見開き一面に載っていました。

『夏休みの宿題が終わってなくても、好きな人に好きな人がいても、やりたいことが見つからなくても、テストでいい点とれなくても、レギュラーになれなくても、学校に行きたくなくても、将来がどれだけ不安でも、(中略)サボっちゃう日があっても、自分なんかって思う事ばかりでも、

キミは、いたほうがいいよ。』

夏休み明けは子どもたちの気持ちが不安定になると言われています。長期の休みに慣れた子どもたちの中には、学校が始まる事をプレッシャーに感じている子もいるのではないのでしょうか。職員の会議で、不安な子どもがいたら、寄り添って支えていこうと確認しました。学校を子どもたちにとって安心して生活できる居場所にしていきたいと考えています。「あなたの居場所はここにあります。あなたがここにいてくれることを願っています。一緒に学んでいきましょう。」そう伝えたいのです。

学校は地域の方々や保護者、関係機関などの支えがあって成立するものです。本校には学援隊があり、地域の方々毎朝、子どもたちの登校を見守ってくださっています。真夏の暑い日も冬の凍えるような雪の日も、笑顔で子どもたちの安全のために無償の活動を続けてくださっています。本当に頭が下がります。子どもの命を守るヒーローです！教員も基本は教室で子どもを迎えるのですが、当番を決めて、交差点に立つようにしています。私もできる限り、交差点に立つようにしています。横浜市に限らず、登下校時に大きな交通事故が発生しています。そのようなことが無いよう、子どもの命を守りたい、それは地域の方も教員も保護者も共通した思いだと思っています。今年度よりPTAは参加希望票を取るようにしましたが、PTAの参加不参加に関わらず、子どもの命を守る地区委員へのご協力をいただけるとありがたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は3年ぶりにスクールゾーン対策協議会を警察や区役所、地域の方々をお招きして開催することができました。地域の方々やPTA会長をはじめ地区委員長、地区委員の皆様のご尽力で、スクールゾーンの危険な箇所の改善を訴えることができました。今後も新田小学校に関わる全員で力を合わせて子どもたちの安全を守っていきましょう。

9月からの4か月は運動会や遠足などの行事がたくさんあります。また、学習にも集中できる4か月です。子どもたちの健全な成長のために、教職員一同心を合わせて努めてまいります。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。